

第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

1 広域道路ネットワークの構築

●東九州自動車道・大分空港道路

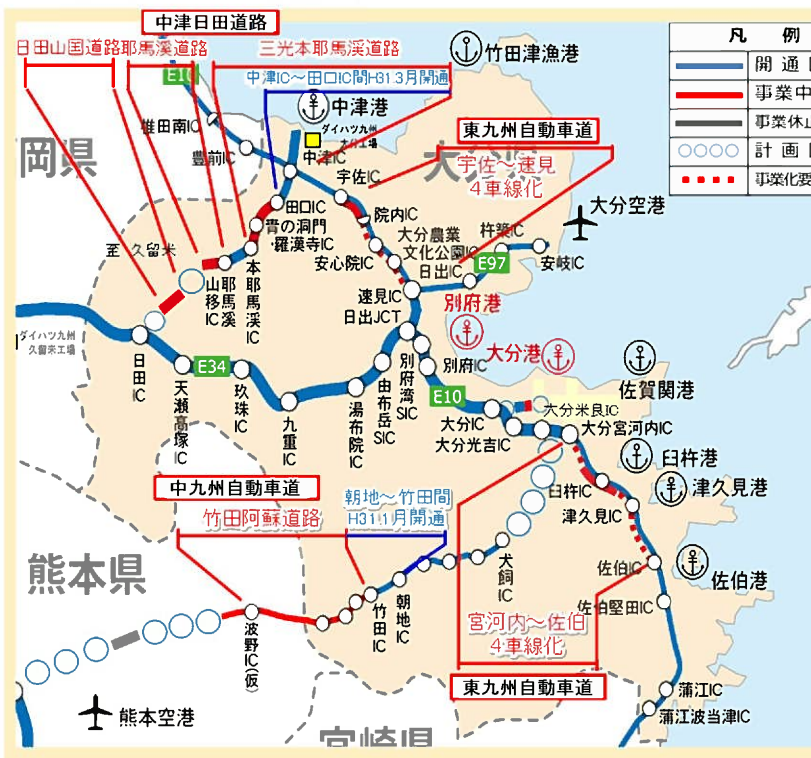
- ・東九州自動車道の「宇佐IC～院内IC間」及び「大分宮河内IC～津久見IC間」の一部が、平成31年4月に4車線化事業に着手されました。引き続き、事業化区間の整備促進及び全線4車線化を目指し、国等への要望活動を行います。
- ・大分空港道路については、日出IC～安岐IC間の一部区間で実施していた4車線区間の延伸工事が、令和元年7月に完了しました。

●中九州横断道路

- ・「竹田～阿蘇」間は、平成31年4月に事業着手され、中心杭打ち式が行われました。引き続き、早期開通を目指し、国へ要望活動を行います。

●中津日田道路

- ・現在約24kmの区間（三光本耶馬溪道路（直轄権限代行）、耶馬溪道路、日田山国道路）で整備を推進しています。令和元年度は用地買収を促進させるとともに、改良工事を実施し各工区ともに早期の供用開始を目指します。



—	開通区間
—	事業中区間
—	事業休止区間
○ ○ ○ ○	計画区間
⋯ ⋯ ⋯ ⋯	事業化要望区間



整備の進む耶馬溪道路（山移工区）



4車線区間を延伸した大分空港道路

【目標指標】

指 標	基準値		R1年度		R6年度	
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合	H26	73%	76%	76%	100%	78%
九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合	H26	—	52%	52%	100%	54%
地域高規格道路整備延長	H26	67km	77km	77km	100.0%	100km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	大泊浜徳浦線（深江工区）の開通などにより、目標値を達成した。
達成	大分空港道路4車線化の開通などにより、目標値を達成した。
達成	R1年度は開通による指標数値の向上はないが、中津日田道路等の整備を引き続き推進している。

2 地域道路ネットワークの充実

●地域ネットワークの整備

- ・幹線道路は、渋滞や交通安全上等の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与しています。また、合併新市中心と旧市町村中心を結ぶ道路等で、未改良で残された区間や港湾とインターチェンジを結ぶ道路等の整備を進めています。令和元年度は大泊浜徳浦線深江工区などの開通により、地域道路ネットワークの充実を図りました。
- ・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上ののり面崩壊対策を令和元年度は竹田直入線など15路線27箇所で行いました。



大泊浜徳浦線 深江工区（臼杵市）



竹田直入線 植木工区（竹田市）

●中山間地域等の生活道路

- ・既設の道路敷を利用した路肩拡幅や側溝整備等の局所改善を令和元年度は県道日田山国線など約109箇所で行いました。
- ・災害時の通行止めにより、集落の孤立が発生する可能性のある道路について、道路のり面对策を推進します。令和元年度は県道四浦日代線など3路線14箇所で行いました。

《路肩拡幅 実施事例》

県道 日田山国線（日田市）



《道路のり面(落石)対策 実施事例》

県道 四浦日代線（津久見市）



【目標指標】

指 標	基準値		R1年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数	H26	—	90集落	73集落	81.1%	150集落

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成不十分	埋蔵文化財調査や入札不調等により完成年度が延長したため達成不十分となったが、平原耶馬溪線(金吉工区)等の開通により、感染道路へのアクセスの改善を図った。

3 海上輸送拠点の強化

●港湾機能の強化

○臼杵港

八幡浜へのフェリーが1日14便の過密ダイヤで運航しており、港内では大小様々な船舶が航行しています。

安全な航行の確保並びに港湾機能の強化を図るため、新たなフェリーターミナルの整備を推進しています。

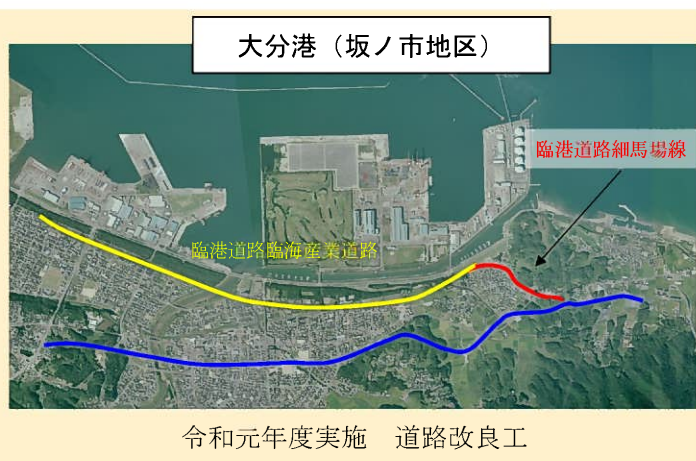
○佐賀関港

東九州自動車道の開通に伴う利用客の増加等により、フェリーの駐車場が不足しています。フェリー利用者の利便性向上及び荷役の効率化を図るため、埠頭内の施設配置を見直し、船社によるフェリー上屋の建て替えと併せて、駐車場を整備しました。



●交通アクセスの向上

物流の効率化とともに渋滞緩和、安全性の向上等を図るため、臨港道路の整備を推進しています。



【目標指標】

指 標	基準値		R1年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
新規バースの整備延長 ※専用岸壁除く	H26	—	130m	130m	100.0%	270m
県内港湾の公共埠頭取扱貨物量	H26	—	42,000千ft	43,600千ft	103.8%	45,000千ft

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	計画的な予算・工程管理を行い、目標値を達成した。引き続き、新規バースの整備を推進する。
達成	ポートセールスを行い、目標値を達成した。引き続き、港湾施設の利活用の促進のためのポートセールスを行っていく。